

「クールジャパン官民連携プラットフォーム」主催
第3回クールジャパン・セミナー開催のご案内
ロバート キャンベル氏講演・クールジャパン特別座談会

官民が一体となり、業種を超えて日本の幅広く奥深い魅力を最大限発信・発揮する機運を高めるべく、クールジャパン・セミナーを開催致します。

今回は、国文学研究資料館 館長のロバート キャンベルさんをお迎えし、『**「日本コンテンツ」の潮流とその根底にある魅力の本質について**』をテーマにご講演いただきます。また、様々な分野でご活躍されているクールジャパン・アンバサダー等のクールジャパン分野に知見を持つ有識者を交え、クールジャパンの効果的な発信・展開に向けた特別座談会を行います。

本セミナーでは、2020年とその先を見据えて、数ある日本の魅力を海外・外国人に効果的に発信する秘訣等を登壇者の皆様よりお聞きし、海外展開やインバウンド等これからの取組に役立てていただきたく、皆様のご参加をお待ちしています。

「クールジャパン官民連携プラットフォーム」はクールジャパン戦略を推進するための協議会です。今回は協議会会員以外もご参加いただけます。

日時	2018年9月18日(火) 14:00 - 15:40【受付開始 13:30】
会場	三田共用会議所 講堂 (東京都港区三田二丁目1番8号) https://gbbs.gex.hq.admix.go.jp/mita_site/map/index.html
プログラム (予定)	14:00-14:05 開会挨拶 14:05-14:35 講演 「「日本コンテンツ」の潮流とその根底にある魅力の本質について」 (国文学研究資料館館長 ロバート キャンベル氏) 14:35-15:35 特別座談会「クールジャパンを深く広く展開するのに必要なものとは？」 モデレーター：ロバート キャンベル氏 パネリスト：金井 良宮氏(株御所坊 ブランドマネージャー) ジャスティン・ポッツ氏(株ポッツ家プロダクションズ 代表取締役) ビーニヤス・アメストイ・イバイ氏(株アクティブゲーミングメディア 代表取締役社長) 住田 孝之(内閣府 知的財産戦略推進事務局 事務局長) 登壇者の詳細は別紙参照 15:35-15:40 閉会 最長 17:00 までネットワーキング可能です。(全体プレス公開予定です)
定員	100名(定員になり次第締め切り。1団体・企業から複数名お申込み頂いた場合は、調整させていただきます。)
申込方法	参加の申込は下記リンク先より必要事項をご記入のうえ、お申込みください。 https://form.cao.go.jp/cooljapan/opinion-0020.html u 定員に達した場合のみ、事務局よりご連絡致します。 u 受付時に名刺を1枚頂戴いたしますので、名刺をご持参の上ご参加ください。 個人情報については、本セミナーの運営目的以外では使用せず、適切に取扱います。
申込締切	9月12日(水) 正午
問い合わせ	内閣府 知的財産戦略推進事務局 担当：木澤・宇都宮・見田 TEL 03-3581-4225

<p>講師略歴</p>	<p>ロバート キャンベル氏 (国文学研究資料館 館長)</p> <p><略歴> ニューヨーク市出身の日本文学研究者。国文学研究資料館長。 江戸から明治時代の日本文学が専門で、とくに 19 世紀の都市空間と人の心に強い関心を寄せている。文芸ジャンルを超えて日本の芸術メディア、思想などにも造詣が深い。テレビで MC やニュースコメントーター等をつとめる一方、新聞雑誌連載、書評、ラジオ番組出演など様々なメディアで活躍中。 2017 年 3 月に東京大学を辞し、同 4 月から現職。東京大学名誉教授。</p> 
<p>パネリスト 略歴</p>	<p>金井 良宮氏 (株御所坊 ブランドマネージャー)</p> <p><略歴> 1979 年モロッコ、カサブランカ出身。1999 年にモロッコ人初の女性国費留学生として来日。情報知能工学及び薬学を学んだのち、化粧品会社にて海外向け商品企画を担当した。ものづくりに欠けているものに気付き Identity や心を豊かにする仕事をしたいと思い始めた。本物を育てる仕事をしたいと考え、2010 年に渡仏、高級ブランドマネジメント MBA を取得し、日本に帰国。以来、有馬温泉にある 800 年以上の歴史を持つ老舗旅館 陶泉御所坊の運営家族メンバーの一人として経営参画しブランドマネージャーを務める。2017 年 12 月、クールジャパン推進会議 in 神戸でクールジャパン・アンバサダーに就任。新ブランドのブランディングを手助けし、神戸らしさを世界に発信する。</p>  <p>ジャスティン・ポッツ氏 (株ポッツ家プロダクションズ 代表取締役)</p> <p><略歴> シアトル市生まれ。ワシントン州立大学卒業、テンプル大学ジャパンキャンパス大学院修士課程終了。株式会社 umari に入社をきっかけに食やローカルカルチャーを軸にした地方と都会、地方と海外を繋げるプロジェクトデザインを携わってきた。株式会社ポッツ家プロダクションズにて日本各地の Sake Tourism プロジェクトや、地域のカストロノミー・ツーリズムやコミュニケーションを担う人材育成とプログラムデザインも行っている。数年蔵人としてお酒造りをし、日本酒学講師酒匠、きき酒師の資格を持つ。</p>  <p>ビーニヤス・アメストイ・イバイ氏 (株アクティブゲーミングメディア 代表取締役社長)</p> <p><略歴> スペイン・バスク地方出身、幼少期より手塚作品、ゴルゴ 13 等の日本コンテンツに慣れ親しむ。2000 年来日。大手ゲーム会社にて勤務後、在職中に培ったローカライズの知識を活かし、2008 年ローカライズ会社 (株)アクティブゲーミングメディアを設立。以来、「日本のコンテンツを世界へ広げる『BOUNDLESS ENTERTAINMENT』」をミッションとし、多国籍な社員 (30 か国) と共にゲームやアニメのローカライズ、パブリッシングを行う。また、日本最大のインディーズゲーム EC サイト「PLAYISM」ゲームメディア「AUTOMATON」、ゲームソフト開発事業などを展開中。</p>  <p>住田 孝之 (内閣府 知的財産戦略推進事務局 事務局長)</p> <p><略歴> 1985 通商産業省 (現：経済産業省) に入省。特許庁、環境庁などを経て経済連携交渉官、知的財産政策室長、技術振興課長、情報通信機器課長日本機械輸出組合ブラッセル事務所長、資源燃料部長、商務流通保安審議官などを歴任。2017 年 7 月から現職。2016 年 6 月からは FCAJ 理事を務める。商務流通保安審議官在職中には、2025 年万博の大阪誘致を主導。</p> 